

2年 高高イノベーションアワード

1 目的

2学年の課題研究は、社会課題の解決方法となる実物を開発し、アイデアを形にすることで、社会実装の実現を目指して、取り組んでいる。2学期からの班別活動におけるテーマ設定とその解決策として開発したものを利用して、その概要をプレゼンすることを目的とした。

2 概要

(1) 方法

10月22日(水)に『中間発表会』を行った。この発表会の各会場の生徒間投票で選ばれた代表グループが、高高イノベーションアワードに選出された。代表グループは、大学教授、起業家の方を審査員として、2学年全生徒の前で発表した。

(2) 過程

4月当初は個人向けて、社会課題における独自性のある探究テーマのアイデア出しとリサーチクエスションの検証の仕方について説明した。9月からの班別活動では、そのテーマを協力してブラッシュアップし、社会実装に向けて具体的な開発をすることを説明した。生徒は、3～4人のグループで、さまざまなアイデア出しを行い、アプリやIoTなど利用した開発を行っていった。中間発表後には、課題の根拠の重要性と開発した製品紹介ではないことを強調し、研究を続けるように説明した。

(3) 日時・場所

11月12日(水) 14:05~16:05

高崎高校翠巒ホールを予定していたが、学級閉鎖により各教室にてリモートで行った。

(4) 発表形式と評価方法

1グループにつき、発表5分、質疑応答4分で行った。質疑応答では、リモートにも関わらず一般生徒から鋭い質問があり、審査員の方から各グループにコメントをいただいた。全グルー

プの発表後、審査員の方に最優秀賞と優秀賞を選出していただいた。

(5) 参加グループと発表タイトル

グループ	発表タイトル
401	a couple of コネクト ～婚活イベント運営支援アプリ～
911	水質の自動検知システム ～亜硝酸塩の濃度検知による水の安全性の確認～
917	剣道の素振りサポートアイテム ～正しい素振りのための簡易軌道解析システム～
910	TakaChalink ～高チャリのエリア外利用検出・運用効率化システム～
919	LISTENAVI ～AIを用いて応援する人をサポートし評価するアプリ～
909	デジタル×そろばん ～画像認識を用いたそろばん学習アプリ～
902	冷感クレイパッド ～粘土鉱質を用いた冷感素材の製作～
706	見本メーカー ～モザイク壁画の見本を作るアプリ～

3 成果と課題

2学年生徒全員が各教室にてリモートによる発表であったが、視聴するときは真剣に見聞きし、質疑応答も盛んで、非常に良い発表会となった。課題設定や解決策の方法、開発したアプリやIoTは、まだまだ未熟ではあるが、発展性のある発表が多く、今後が楽しみであった。自分の開発したものが社会課題をどう解決するかの根拠も少なかったため、ここをどう考えさせるかが課題になると思われる。

しかし、高崎高校が求めるプレゼン形式や、視聴(質疑応答を含む)を実践しており、好感が持てた。外部での発表会でも、そのような力を発揮してほしいと感じた。



〈リモートの様子〉



〈昨年度の様子〉